

天皇盃 第25回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会

2020年1月19日(日)12時30分に47都道府県の精鋭たちが平和公園前をスタートし、宮島口棧橋ロータリー経由でJR前空駅手前を折り返し点とし、7区48Kmを競走しました。

大野第一区を通過する全国大会なので、我々も阿品駅近辺、宮島口棧橋ロータリー近辺、前空駅手前折り返し点近辺でカメラを構え、選手たちを応援しました。折り返し点では、広島が1位、佐賀が2位、山口が3位でしたが、中国勢のトップが広島で16位と言う結果でした。

都道府県対抗と言うことも有り、沿道には多くの声援で選手たちを後押ししていました。

天候としては曇りの駅伝日和で、好記録の大会と成りましたが、それは、今話題のナイキのシューズの為かもしれないですね。

ちなみに、カープの大野寮が近くにある関係か、私服で歩いている新入団の森下選手たちを見かけました。交通規制がかかっていたのでタクシーを使えなかったのかも、前空駅の方へ歩いて行きました。

では、また来年の駅伝で中国勢の上位入賞を期待し、沿道で応援しましょう。